

9月10日「下水道の日」に合わせた下水道事業の展示を行います ～下水道90年のあゆみや大雨に備える浸水対策を紹介～

千葉市では、9月10日の「下水道の日」に合わせ、市民の皆さまに下水道の役割や本市の取り組みについて知っていただくため、9月1日から市役所1階の情報ステーションにおいて下水道事業に関する展示を行いますので、お知らせします。

また、今回は、令和8年8月千葉豪雨に関して、市内で観測した雨量や下水道施設の復旧対応などを紹介するパネル展示を併せて行います。

1 趣旨・目的

今年は、下水道事業着手90周年を迎えたことから、これまでの「あゆみ」を振り返るとともに、下水道施設の耐震化や管更生、マンホール蓋の更新、維持管理など、普段は目にする機会の少ない下水道事業の取り組みを紹介します。

さらに、8月13日に発生した「令和8年8月千葉豪雨」について、市内で観測した雨量や被災状況、下水道施設の復旧対応などを写真やデータで紹介するパネルを展示します。

また、大雨による浸水被害の軽減に向けた本市の雨水対策を紹介するとともに、市民の皆さまの自助につながる防水板の実物を展示し、家庭などでできる浸水への備えについて紹介します。

2 期間

令和8年9月1日（火）～10日（木）（土日を除く）
各日9：00～17：00

3 場所

市役所1階情報ステーション

4 展示内容（予定）

（1）パネル展示

- ・「千葉市の下水道のあゆみ」
- ・下水道事業（耐震化、管更生、人孔蓋の更新等）
- ・雨水対策（ハード・ソフト事業）
- ・令和8年8月千葉豪雨の被災状況や下水道施設の復旧対応

（2）防水板、マンホールトイレ等の実物展示

（3）デザイン蓋（レプリカ）展示



昨年度の展示の様子

5 取材申し込み

当日取材を希望する場合は、取材希望日の2日前（閉庁日の場合は前閉庁日）までに下水道営業課（電話245－5408）へご連絡ください。

＜参考＞下水道の日について

「下水道の日」は、1961年、著しく遅れているわが国の下水道の全国的な普及を図る必要があることから、全国的に展開するため、「全国下水道促進デー」として始まりました。また、9月10日と定められたのは、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである210日を過ぎた220日（立春から数えて）が適当であるとされました。

それから約40年が経過し、日本における近代下水道の基である旧下水道法が制定された1900年（明治33年）から100年を迎え、その記念行事が行われたこと、また、2001年（平成13年）が21世紀のスタートの年にあたることなどから、近年の下水道に対する認識の高まりもあり、より親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。